

中医協 費-1 (別紙)
30.8.22

中医協 費薬材-1 (改)
30.3.7

試行的導入の対象品目（13品目）の評価結果

○医薬品（7品目）

| 品目 | 主な対象疾患 | 主な比較対照技術 | 分析結果※1 (企業・再分析) | 倫理的・社会的 考慮要素 | 検証のための 分析の実施 |
|---|---------------|-------------|--------------------|---------------------------------------|-----------------|
| ソバルディ 【ギリアド・サイエンシズ (株)】 | C型肝炎 | インターフェロン治療等 | 500万円/QALY 以下 | 「感染症対策といった公衆衛生的観点での有用性」に該当 | |
| ハーボニー 【ギリアド・サイエンシズ (株)】 | C型肝炎 | 直接型抗ウイルス薬等 | (両分析結果併記) | 「感染症対策といった公衆衛生的観点での有用性」に該当 | ○ |
| ヴィキラックス 【アッヴィ合同会社】 | C型肝炎 | 直接型抗ウイルス薬等 | (両分析結果併記) | 「感染症対策といった公衆衛生的観点での有用性」に該当 | ○ |
| ダクルインザ スンベプラ 【ブリストル・マイヤーズ スクイブ (株)】 | C型肝炎 | インターフェロン治療等 | (両分析結果併記) | 「感染症対策といった公衆衛生的観点での有用性」に該当 | ○ |
| オブジーボ 【小野薬品工業 (株)】 | 悪性黒色腫、非小細胞肺癌等 | 化学療法 | (両分析結果併記) | 「重篤な疾患の、QOL は大きく向上しないが生存期間が延長する治療」に該当 | ○ |
| カドサイラ 【中外製薬 (株)】 | HER2 陽性乳がん | 化学療法 | 1,000万円/QALY 以上 | 「重篤な疾患の、QOL は大きく向上しないが生存期間が延長する治療」に該当 | |

※1 費用対効果評価専門組織における評価結果（平成29年11月8日の合同部会（非公開）において提示済み）

○医療機器（6品目）

| 品目 | 主な対象疾患 | 主な比較対照技術 | 分析結果※ ¹ (企業・再分析) | 倫理的・社会的 考慮要素 | 検証のための分析 の実施 |
|---|-------------------------|----------|--------------------------------|-----------------------------------|-----------------|
| カワスミ Najuta 胸部ステントグラフトシステム 【川澄化学工業（株）】 | 遠位弓部大動脈瘤 | 人工血管置換術 | (両分析結果併記) | 該当なし | ○※ ² |
| アクティバRC 【日本メドトロニック（株）】 | パーキンソン病、 本態性振戦、ジストニア | 脳深部刺激装置 | 効果が同等であり費用が削減される | 一部の適応症について「代替治療が十分に存在しない疾患の治療」に該当 | |
| バーサイス DBS システム 【ポストン・サイエンティフィック ジャパン（株）】 | パーキンソン病、 本態性振戦 | 脳深部刺激装置 | 効果が同等であり費用が削減される | 一部の適応症について「代替治療が十分に存在しない疾患の治療」に該当 | |
| Brio Dual 8 ニューロスティミュレータ 【セント・ジュード・メディカル（株）】 | パーキンソン病、 本態性振戦、ジストニア | 脳深部刺激装置 | 効果が同等であり費用が削減される | 一部の適応症について「代替治療が十分に存在しない疾患の治療」に該当 | |
| ジャック 【(株) ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング】 | 膝関節の外傷性軟骨欠損症又は離断性骨軟骨炎 | 薬物療法 | 分析困難 | 該当なし | |
| サピエン XT 【エドワーズライフサイエンス（株）】 | 大動脈弁狭窄症 | 大動脈弁置換術等 | (両分析結果併記) | 該当なし | ○ |

※¹ 費用対効果評価専門組織における評価結果（平成29年11月8日の合同部会（非公開）において提示済み）

※² カスミ Najuta 胸部ステントグラフトシステム（川澄化学工業（株））については、企業側より検証については終了したい旨の申し出がなされた。そのことについて費用対効果評価専門組織に報告、了承され、検証作業は終了とした（平成30年5月）。結果として、分析結果は「効果が同等であり、同時に費用が削減される」とされた。